

大学における単位制度



- 授業は、講義、演習、実験、実習及び実技のいずれかの方法またはこれらの併用により行うものとするが、いずれの方法においても1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成する。
- 講義
15時間の授業と30時間の授業外での学修をもって1単位とする。
- 演習・実験
30時間の授業と15時間の授業外での学修をもって1単位とする。
- 高校時代までの授業とは根本的に異なる方式である。

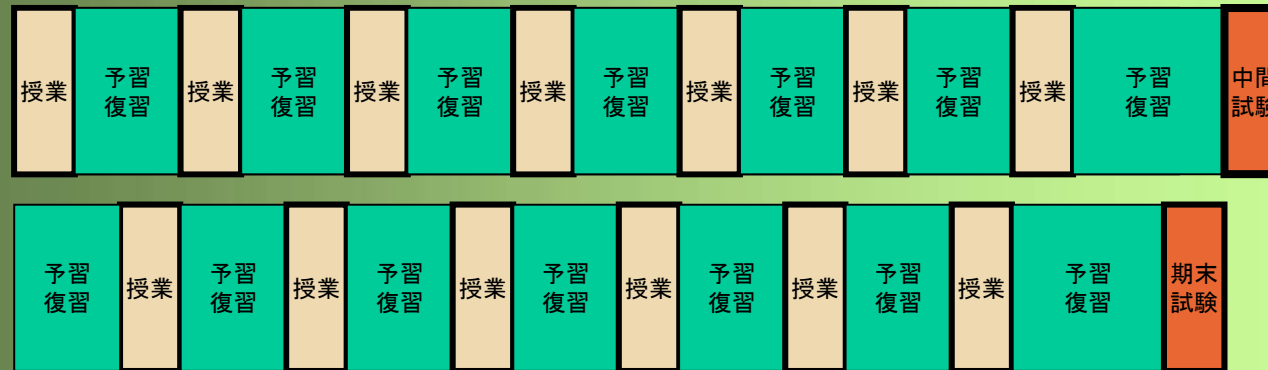
1コマ授業時間の実際



- 通常講義2単位
30時間(実質は90分×15回)の授業と60時間(実質の講義時間の2倍であれば3時間×15回)の授業外での学修をもって2単位とする。
- 演習・実験
30時間(実質は90分×15回)の授業と15時間(実質の講義時間の半分であれば45分×15回)の授業外での学修をもって1単位とする。



2単位授業の15週の流れ(一例)



- ・毎週1科目当たり3時間の予習・復習の時間を費やし、90分の講義を聞くこと、及び試験を受験することを総計15回行うことで2単位が認められる。
- ・従って授業の難度は、これらの予習・復習をすることなく、授業内容を理解することは難しいと考える必要がある。

1週間のスケジュール

	AM8	AM9	AM10	AM11	PM0	PM1	PM2	PM3	PM4	PM5	PM6	PM7	PM8	PM9	PM10	PM11	AM0
月曜日	食事	授業			食事	授業			空き時間	食事	空き時間			就寝			
火曜日	食事	授業			食事	授業			空き時間	食事	空き時間			就寝			
水曜日	食事	授業			食事	空き時間			食事	空き時間			就寝				
木曜日	食事	授業			食事	授業			空き時間	食事	空き時間			就寝			
金曜日	食事	授業			食事	授業			空き時間	食事	空き時間			就寝			
土曜日	食事	空き時間			食事	空き時間			食事	空き時間			就寝				
日曜日	食事	空き時間			食事	空き時間			食事	空き時間			就寝				

毎週のスケジュールから予習復習にさける時間はどの位か？
 午前0時就寝翌日の8時まで8時間の睡眠時間を取ると仮定。
 大学までの通学時間は食事時間・就寝時間に含むものとする。
 食事毎に1時間とし、授業時間を除くと、毎週の余暇は55時間。

半期当たり10科目の2単位講義＋1単位講義2科目（総計22単位）を受講すると仮定すると、そのための予習・復習時間は30＋1.5時間となる。
 それ以外の部活などに23.5時間費やすことが可能。

これだけの予習・復習を費やして、講義内容が不明の場合には講義する側の問題以外考えられない、講義改善を要望。

学生番号 氏名